

Photo: 上原ミワ

大きな輪のなかに 答えをさがして

ARTIST'S VIEW / インタビュー

IRWAN AHMETT & TITA SALINA

イルワン・アーメット & ティタ・サリナ

特集「話してみよう、言葉のこと。in 前橋」

アーティストコラム ミヤギフトシ



1 Welcoming the sunlight. 日光を歓迎している。



2 Imprinted memory. 刷り込まれた記憶。



3 New hope hopefully blooming like flowers. 新しい希望がどうか花開きますように。



4 International food for international people. 国際人のための国際食。



5 Colorful citizen. カラフルなまちの人たち。



6 This is like fossilised fish that will stay forever. 化石化した魚みたいだ。



アーティストが見た前橋

ARTIST'S VIEW

IRWAN AHMETT & TITA SALINA

イルワン・アーメット & ティタ・サリナ

もつれた社会の糸を
ユーモアで解きほぐす

CHALLENGING DIFFICULT ISSUES WITH SENSE OF HUMOR.

Photo: 上原ミワ

INTERVIEW

インドネシアの首都ジャカルタを拠点に活動するイルワン・アーメットとティタ・サリナの二人。人々の意識の外に追いやられている様々な社会問題に目を向け、その隠された素性を繊細なユーモアで視覚化していく。他者とのコミュニケーションから映像やインスタレーションを作り上げていく彼らに、作品の背景や制作の動機について聞いた。その好奇心に溢れる眼差しは、このまちでどこに向けられるのだろう。

ーお二人はグラフィックデザイナーからアーティストに転向されたそうですが、何かきっかけがあったんでしょうか？

イルワン・アーメット (以下IA) 2000年に二人でデザインスタジオを立ち上げました。そこから10年後にアートのほうにシフトしていったんですが、ちょうどその頃に、NPOやNGOからたくさんの依頼を受けるようになったんです。そこで、人権や環境問題、公衆衛生、人口問題など、社会にはいろんな問題があるんだと気づき、アートに興味を持ち始め

ました。人と対話したり、コミュニケーションから何かしらの解決策を導き出すという意味では、私たちの作品に対するアプローチはデザインに通じるところがあると思います。

ージャカルタではどんな作品を作っていますか？

ティタ・サリナ (以下TS) 2015年に、『1001 ISLAND (1001 番目の島)』という作品を作りました。1000個の小さな島が集まって1つの島になるというコンセプトで、この島は全部、海から集め

たプラスチックのゴミで出来ています。ジャカルタ湾に多くの漁師が住んでいるエリアがあるのですが、その海が非常に汚染されてしまっているという問題がありました。また、インドネシアでは都市化に伴い地盤沈下が起きているのですが、その対策として、政府がジャカルタ湾に「海の壁」を作るという計画が持ち上がっているんです。

IA 30~40kmに渡る、高さ約30mの防潮堤と、17個の人工島を作るという計画です。

TS これについて大変な議論が巻き起こりました。というのは、この計画は環境問題の根本的な解決にはならず、同時に、壁が出来ることでそこに住んでいる漁師たちは退去せざるを得ないからです。

IA 実はジャカルタは年間平均10cmのペースで海に沈んでいるんです。何かしら解決策が見つからないと、20年後には海の底に沈んでしまうと言われています。

TS すでに海拔よりも低いエリアもあり、都市の開発と海面の上昇が相まって、かなり早いペースで沈下が進んでいます。そういった問題を踏まえた作品です。

ー2014年に東京で制作した《AIR BALL》という作品についても教えてください。

IA この1年前に、ジャカルタでゴミ問題をテーマに同じような作品を作ったんです。

TS ジャカルタでは、日本のような焼却施設やリサイクルといったシステムがないことが、大きな社会問題になっているんです。

IA ジャカルタには雪が降りませんが、ゴミはたくさんあるので、ゴミを雪だるま式に集めて巨大なボールを作り、それを公共の場で展示したんです。でも、日本に来たら、街にゴミがなかった (笑)。しかし当時の日本には別の問題があって、それが原発事故による放射能でした。当時の人々は、目の前の問題について無関

心だったり、自分の頭の中だけで完結してしまっているような印象を受けました。そこで、ユーモアの要素を取り入れて、人々の固定化した思考を解きほぐすことができた面白いんじゃないかと思ったんです。人々の想像で大きな見えない空気のボールを作って、それを渋谷の空に向かって放り投げるとことをしたんです。そのボールは今もまだ渋谷の空に浮かんでいますよ。

ー前橋に来てみて、感じたことは？

IA 東京は大都市で、人はたくさんいるけれど人と会えないというような環境ですが、前橋は本当にいい規模感だなと思います。その辺を歩いていると知っている人によく会いますし、人と親しくなりやすい街です。それは東京とも違うし、ジャカルタとも違う。

TS 私はまだ来たばかりなので、今回の滞在中に色々発見をしたり、いろんな人に会えたらいいなと思っています。実は先週、岩手の過疎化した限界集落に行ってきたんです。

ー過疎化など、都市と地方の問題はインドネシアにもあるんでしょうか？

IA もちろん文脈は違うのですが、インドネシアでも、若者たちは都市や海外へ出てしまい、農地や家から人がいなくなって寂れていくという状況があります。そこからいなくなった人たちが、技術研修に来て日本で農業をやっていたりする。とても矛盾した状況だと思います。こういった状況は、私たちの未来を脆く壊れやすいものになっているんじゃないかなと思います。

ー現在進行中のプロジェクト《RING OF FIRE (環太平洋火山帯)》では、地政学的な問題をテーマにされていますね。

IA 実は、グラフィックデザインを辞めた2010年から2011年の間に、8か国を巡る放浪の旅に出たんです。特に何の目的も持たず (笑)。その旅の途中に、オランダのあるカフェで東北の津波の映

像を見たんです。その時、環太平洋地域になにか大きなストレスがかかっているのではないかと感じました。8才の時に、ジャワ島のガルングン山の噴火を目の前で目撃したことがあって、それも印象に残っている出来事の一つです。2002年にジャカルタに移住した時にも目の前で爆発が起きて、火山の噴火かと思ったのですが、その爆発はテロによるものでした。ジャカルタでは年に1回は自爆テロがありますが、ある意味活火山と一緒にすよね。噴火や地震はエネルギーがぶつかり合って起きるものですが、テロなどの社会的な課題も、イデオロギーとイデオロギー、文化と文化の衝突によって起きるものです。その二つの関連性を考えた時にこのプロジェクトの発想が生まれました。私たちが介入することによって、環太平洋エリアに笑顔が戻ったらいいなと思っています。

ー作品を形にする方法で、心がけていることはありますか？

IA 遊びやユーモアの要素を意図的に取り入れるようにしています。私たちが扱っている問題はとても重かったり、難しいものも多いので、人々をクスッとさせたり笑顔にさせることを通して社会的な問題を理解してもらったり、問題を柔らく解きほぐすことによって、見る人が吸収しやすくなると思っています。

TS ユーモアというのはある意味、世界の共通語でもあると思います。言葉がなくても通じるところとか。

IA たまに通じないこともあるけどね (笑)。

2017年12月5日収録 聞き手：殿岡 渉

●オープンスタジオ

2018年1月13日 (土)、14日 (日)
13:00 ~ 19:00

滞在制作での成果発表やアーティストトークを行います。詳細はアーツ前橋HPをご覧ください。
<http://artsmaebashi.jp/>

《1001 ISLAND》2015年



イルワン・アーメット & ティタ・サリナ IRWAN AHMETT & TITA SALINA

ジャカルタ (インドネシア) を拠点に活動。ジャカルタ・インスティテュート・オブ・アートでグラフィックデザインを学び、アーメット・サリナ スタジオデザインを設立。2010年から公共空間における都市問題や社会的・政治的問題をテーマとしてアートプロジェクトを展開している。これまでインドネシア、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ドイツ、日本 (トーキョーワンダーサイト 2014年) での滞在制作に参加したほか、シンガポールピエンナーレ (2013年)、瀬戸内国際芸術祭 (2013年)、アジア・アート・ピエンナーレ (2015年)、ジョグジャカルタ・ピエンナーレ (2015年) などに参加。

「こんにちは」「いただきます」といった、私たちが何気なく使っている日本語。

日本人にとっては身近で、自然と口から出てくる言葉だと思います。

しかし、他の言語圏から前橋へやって来た人たちは、日本語をどのように捉え、日々使っているのでしょうか。

前橋在住で様々な言葉話す方々と、日本語と外国語の表現の違いや面白さについて話し合いました。

您好！
ニーハオ

Selamat Siang!
スラマッ・シアン

Xin chào!
シンチャオ

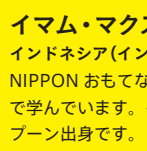
ආයුබෝවන්!
アーユボーワン

Boa tarde!
ボア・タルヂ

Hola!
オラ



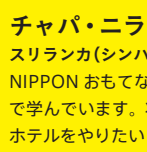
リョウこうはく
梁 宏博さん
中国(中国語)
前橋工科大学の大学院生です。日本に
来て5～6年になります。



イマム・マクスムさん
インドネシア(インドネシア語)
NIPPON おもてなし専門学校・前橋校
で学んでいます。インドネシアのラン
ブーン出身です。



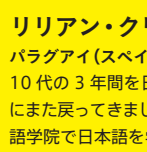
ゲン・ホアイ・トウさん
ベトナム(ベトナム語)
NIPPON おもてなし専門学校・前橋校
で学んでいます。日本に来て初めて訪
れたのが前橋です。



チャパ・ニランダニさん
スリランカ(シンハラ語)
NIPPON おもてなし専門学校・前橋校
で学んでいます。将来はスリランカで
ホテルをやりたいと思っています。



クリスティナ(岩井 愛)さん
ブラジル(ポルトガル語)
日本生まれの日本人ですが、小さい時
からブラジルで育ちました。クリスティ
ナはブラジルでの洗礼名です。



リアン・クリスタルドさん
パラグアイ(スペイン語)
10代の3年間を日本で過ごし、数年前
にまた戻ってきました。前橋のNIPPON
語学院で日本語を学びました。

ー初めに、それぞれの言語がどのくら
い違うのか、オノマトペ(擬声語)を
例に確かめてみたいのですが、中国語
はどうですか？

梁 中国にもオノマトペはあるけど、
日本語の方がもっと細かく丁寧な扱っ
てる感じがします。多分倍以上はある
んじゃないかな。ただニワトリの鳴き
声は、中国ではオスとメスの鳴き声が
別々にあります。オスは「ウォウウォウ」
で、メスは卵を産む時に「クククッ」
と鳴きます。

クリスタルド パラグアイでは、ニワ
トリは「コココッ」ですね。

マクスム インドネシアは、オスが「ク
クルュー」、メスは「ポトポト」です。

クリスティナ ブラジルでは「コッコ
ロココー」と言います。

トウ ベトナム語は発音が強いから、
オノマトペの表現も強いです。ニワト
リの鳴き声は、メスは「コッタッ」、オ
スは日本語のコケココーのリズムと
似ていて「オーオオー」と言います。

ー皆さん「コケココー」とは聞こえ
ないんですね……。

クリスタルド 例えば「ドアがバンと

閉まる」とか「風がびゅうびゅう吹く」
とか、日本語は状況をオノマトペで表
現することが多くて難しいです。どれ
を使えばいいのかわからない(笑)。

クリスティナ ポルトガル語にもない
ですね。「雨がざあざあ降る」の「ざあ
ざあ」に当たる言葉がないです。

ニランダニ 「風がピューピュー吹く」
って言いますが、風の音は「ピュー
ピュー」とは聞こえないから「なんで
だろう？」と思う。

ー確かに、日本語にはオノマトペが多
いですね。他にも日本語って難しいな
と感じることはありますか？

クリスタルド 通訳する時に「よろし
くお願いします」「いただきます」「ご
ちそうさま」は訳せないですね。

クリスティナ 「お疲れ様です」も、訳
そうとすると、そのままの表現がない
です。

ニランダニ 「おかえりなさい」と「た
だいま」もスリランカでは言わないで
すね。あと変だなと思うのは、「おはよ
うございます」は朝の挨拶なのに、仕
事では昼も夜も使うところ。

クリスタルド あと、日本語は主語が

はっきりしないことが多い。例えば英
語だと主語が「I」や「You」ではっき
りしているけど、日本語だと誰のこ
とを話しているのかわかりづらいです。

トウ 私も、日本語ははっきりしない
なと思います。例えば、「お水は大丈夫
ですか?」「大丈夫です」という会話の
意味も、日本に来たばかりの時は分か
らなかったです。

ニランダニ 「結構です」とか「いいで
す」も両方の意味があると思う。

ー日本には地域によって方言がありま
すが、皆さんの国ではどうですか？

ニランダニ スリランカにも方言はあ
るけど、お互に通じるくらいです。

トウ ベトナムは北と南、真ん中で方
言が違います。同じ果物でも単語が違っ
て通じないこともあります。

ー皆さんの国でも通じる日本語はあり
ますか？

クリスティナ 例えば「サシミ」とか
そういう言葉は訳さないでそのまま使
われていますね。

クリスタルド 「ヤキソバ」とか、食べ
物系の言葉が多いかな。

ニランダニ 「キモノ」、「サクラ」。

トウ 「うどん」。

クリスタルド 中国語では「寿司」の
読み方は、日本語と同じ？

梁 中国語の読み方で寿司は「ショウ
スー」。うどんはそのまま「うどん」です。
ー自分の国の言葉で、好きな言葉は？

ニランダニ 家族という意味の「ハオ
レ」、愛するという意味の「アーグラヤ」
が好き。

トウ 私もベトナム語で家族という意
味の「ザーディン」が好き。

梁 中国語で「いいね!」という意味
の「贊(ザン)」。あと「给力(ゲイリー)」。
すごく助かったとか、超ウケるみたい
な意味でも使います。

ニランダニ スリランカで「いいね!」
は「バーウ」と言います。あと、「マル
ハタイ」という言葉があって、これは
花(マル)が7つ(ハタイ)で「いいね」
という意味の若者言葉です。

マクスム インドネシア語で「いいね」
は「SUKA(スカ)」。英語の「like」と
同じで、好きという意味があります。
日本語とインドネシア語は発音が似て
いて、もしかしたら覚えやすいかもし
れません。

ー日本語と似ているけど意味が全然違
う言葉ってありますか？

マクスム 日本語で「また明日」と言
いますが、インドネシア語では「マタ」
の意味は「目」です。「キリ」は「左」、「カ
キ」は「足」です。

ニランダニ 「ババア」という言葉は、
シンハラ語では「子供」という意味で
す(笑)。「ホラ」は泥棒。「ゲンバ」は
カエル。「デカイ」は数字の2という意
味です。

梁 文字でいうと、漢字で「手紙」と
書くと中国語ではトイレットペーパー
ですし、「娘」はお母さんという意味。
「勉強」は日本語では学習することだけ
ど、中国語では「無理」という意味です。

ー好きな日本語はありますか？

マクスム 僕はインターネットで知っ
た「無駄、ムラ、無理なし」という言
葉が好きです。

ニランダニ 「どうぞ」とか「大丈夫?」
が好き。失敗した時に「大丈夫、気に
しないで。」って言われると嬉しいです。
自分が悪くないのに「すみません」っ
て言うのも、日本人の優しいところだ
なと思います。

●この座談会の模様はNIPPON ACADEMYのウェブサイトから動画でご覧いただけます。(http://nippon-academy.ac.jp/whats_new.html)

国の中の言語 インドネシアには360の言葉が存在する!?

1万3,466の島からなるインドネシアには、国内に
360もの言語があり、スマトラ島ランブーン出身の
マクスムさんも、ランブーン語、ジャワ語、バリ語、
スダ語、そして公用語であるインドネシア語の5つ
の言葉を使い分けているそうです。クリスタルドさん
の出身地・パラグアイでも、公用語のスペイン語とは
別に、ワラニー語という先住民の言葉があり、20年
ほど前から学校の授業でも教えているそうです。



二つの母国語 バイリンガルは言葉をどう使い分けるの?

クリスティナさんは日本で生まれ、5歳の時に家族で
ブラジルへ移住。20年ほど前、結婚を機に日本へ戻
り帰化したそうです。2つの国で過ごした期間が同じ
くらい長いので、普段、ブラジル人と話す時はポルト
ガル語、日本人と話す時は日本語が自然と出てきます
が、ポルトガル語と日本語に関しては「自分の言語で
物事を考えて別の言語に訳するという感覚が自分にはな
い」とクリスティナさん。



中国の「超」は数字? 各国の若者言葉事情

日本では「超〇〇」という表現が若者言葉から広まり
ましたが、以前は中国でも「超」や「猛」などの若者
言葉が同じように使われていたそうです。最近イン
ターネットから生まれた「666(リウリウリウ)」と
いう新しい言葉が流行っているのだとか。インドネ
シア語では「バングッ」(Banggu)、シンハラ語の「ピ
ッス」(පිස්ස)、ベトナム語の「アオ」(ào)など、「超・
マジ・やばい」に相当する言葉が沢山ありました。



COLUMN

アーティストコラム

「イタリア弦楽四重奏団のベートーヴェン」 ミヤギフトシ

2012年の秋ごろだったと思う。渋谷のタワーレコードのクラシックフロアをうろろしていたら、店内で流れていた音楽に耳を奪われた。楽章が終わるまで、陳列棚の間をうろろしながら曲に耳を傾け、そのCDを買った。イタリア弦楽四重奏団によるベートーヴェンの弦楽四重奏第十五番第三楽章で、ロンドンのロイヤル・フェスティバル・ホールでの1965年のライブ録音、ボッケリーニとモーツァルトの弦楽四重奏とともに収録されていた。スタジオ版の録音も買ってみたけれど、ゆったりとしていて濃厚、過剰ともいえる歌心で満ちたライブ盤の方ばかり聴いていた。

現在アーツ前橋にて開催中の「ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所」展にて展示している映像作品《The Ocean View Resort》(2013年)の構想を考え始めていた時期のことだった。この作品には音

楽が必要だと考えていて、それはベートーヴェンによるものであるべきだった(理由については展示カタログ収録の「海辺の記憶」になんとなく書いている)。だから、この弦楽四重奏第十五番が真っ先に思い浮かんだ。これしかない、と直感的にわかった。反復される二長調への鮮やかな転調は、アメリカ兵と日本兵、「僕」とYという、ふたつの関係性が反復するように描かれる《The Ocean View Resort》のシナリオのヒントにもなっている。

最終的に作品で使われるのは別の四重奏団の音源になった。いくつか理由はあるけれど、このライブ版音源が、南の島の海というよりも冬の雪景色を想起させたこともそのひとつかもしれない。でも、今でも折に触れてイタリア弦楽四重奏団のライブ版を聴いている。この録音にぴったりの風景にいつか巡り合えることを楽しみにしながら。



©Takeshi Eiyama

ミヤギフトシ

1981年沖縄県生まれ。自身の記憶や体験に向き合いながら、国籍や人種、アイデンティティといった主題について、多様な形態で作品を発表。2017年には小説『アメリカの風景』『暗闇を見る』(文藝2017年夏号、秋号)を発表。近年の展覧会に、「How Many Nights」(ギャラリー小柳、2017年)、「ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所」(アーツ前橋、2017年)など。

TOPIC



アーティスト・イン・スクール

学校という日常に、
アーティストという刺激はいかがでしょう？

アーティストが学校へ出向き、ワークショップや授業を行う「アーティスト・イン・スクール」。児童・生徒たちとアーティストが共同で学び、表現力やコミュニケーション力を身に付けることを目的に、2016年度からはじまりました。

今年度の1校目として、アーティストの住中浩史さんが前橋市立第六中学校の余裕教室に10月12日から20日間滞在した「アーツ六中プロジェクト」をご紹介します。学校でしてみたいことや流行っていることといった生徒や先生の声も反映しながら、「誰かが何かをしたくなるアイテムや空間」を美術部の生徒たちと制作しました。天板が黒板でできているテーブル、キャンパス地の屏風、屋台、数学の先生が制作を依頼した「壁面ビタゴラ装置」、生徒が自主的に表現できる空間「カオスギャラリー」など、合計10アイテムが完成しました。アイテムは、滞在最終日の学習発表会で全校生徒や保護者へお披露目。住中さんが去った後も学校に残り、校内の活動で使われ、新たな六中の表現や対話が生まれることを期待しています。

まえばしぶんか探索隊
うしろまえばし

<https://www.facebook.com/ushiromaebashi/>

「うしろまえばし」はアーツ前橋のアートスクール受講生が立ち上げたプロジェクト。街を歩いて気になるものをアーカイブしていきます。活動はFacebookでチェック！



「モダンアートのような参道」

川端町の愛宕神社。伝統は大切にしたいですが、この参道はスタイリッシュでかっこいいですね。目の前には上武道路が抜けて、風景が一変しました。(隊員A)

WORKS

収蔵品紹介



アーツ前橋では、前橋市がこれまでに収蔵してきた作品に開館後に新たに収蔵した作品を加えて約650点を収蔵しています。これらの美術作品は、市民にとって大切な宝ものであり、未来に残して伝えていく贈り物です。

横堀角次郎(1897-1978)は、岸田劉生が率いた草土社の創立同人11名に名を連ねた画家です。旧大胡町(現・前橋市)堀越の出身で、旧制前橋中学から渡米準備のために東京・芝の正則中学に転校し、そこで山形出身の椿貞雄と同窓となったのがきっかけで、椿と一緒に岸田劉生を訪ねました。1915年、劉生が審査員を務める巽画会第15回展に初出品し、3等賞銅牌を受けると、同年、草土社第1回展に出品し、最後の第9回まで欠かさずに出品を続けました。劉生と行動をともにした当時の様子は、『劉生日記』にたびたび登場します。この頃の横堀は、「草土社風」といわれる道や草木を細密に描写した風景画や、静物画、人物画などを多く残しました。

《代々木風景》は、裏書から「昭和3年」の制作とわかります。関東大震災後に京都へ移った劉生から離れ、春陽会に作品を出品するなかで、自己を追究するような時代です。モチーフは道と青葉といういわゆる草土社風の作品ですが、白雲が描かれることで、開放的な明るさを感じさせます。やがて横堀は、故郷の山や身近な自然を大胆な筆致でのびやかな写実表現へと変化していきます。

アーツ前橋では、2018年3月17日から5月29日まで、横堀角次郎の展覧会を開催します。初期の作品から、赤城山や東大三四郎池のシリーズ、また横堀と交流のあった画家たちの作品もあわせて紹介します。



横堀角次郎《自画像》大正5(1916)年 油彩、カンバス
YOKOBORI Kakujiro Self Portrait

穏健な自然描写による写実表現

横堀角次郎《代々木風景》
YOKOBORI Kakujiro *Landscape of Yoyogi*
昭和3(1928)年 油彩、カンバス
平成7(1995)年度購入

滞在制作 アイディア

滞在中には実現しなかったけれども、前橋のまちなかに滞在したからこそ生まれたアイデアを紹介します。

片山真理

KATAYAMA Mari

滞在期間：56日間

2014年9月30日～10月29日 /
2015年2月19日～3月16日

● 流しのプロジェクト

群馬県内で活動する音楽家との繋がりを活かしてスタジオで音楽の協働制作を行う。完成した音楽を、「街の流し」のように、毎夜飲食店などを訪れ、演奏をする。

まえばし COLLECTORS FILE #9

コレクターズ・ファイル

街の人が集めているものを紹介してもらコーナー。それがなんであれ、好きならば集めてしまうのが人というもの。集めればそこに新たな美が宿る？



VHSテープ
300本以上

まちの小さなビデオ屋やレコード店の隅に、ひっそりと積まれているVHSを見つけては、交渉して安く譲ってもらっています。中にはDVD化されずVHS版でしか出回っていないレアものも。子どもの頃にホラー映画『チャイルドプレイ』のジャケットをビデオ屋で見て衝撃を受けた経験から、ジャケットのデザインに惹かれて選ぶことが多いです。将来的には、趣味で続けているクラブイベントのVJ(ビデオジョッキー)を、VHSを使ってやりたいと思っています。



上毛新聞社
長澤一生さん

情報求む！ 前橋で「こんな面白いモノを集めている人がいる！」という情報があればアンドアーツまでお寄せください。

EVENT

まちなかイベント情報

前橋初市まつり

1月9日[火]

本町通り、前橋中心商店街

八幡宮境内での「お焚きあげ」や街を練り歩く「市神様」の渡御行列は前橋の年初めの風物詩。本町通りや商店街に露店が軒を連ね、だるまや縁起物を買求める人々で夜遅くまで賑わいます。

第17回テルサ寄席 ふるさと落語会

1月20日[土] 開場 13:30 開演 14:00

前橋テルサ 2階ホール

立川志らく、林家二楽、林家つる子、立川がじらのほか、渋川市出身の三遊亭ぐんまが出演。

[問] 前橋テルサ TEL: 027-231-3211

ニュー・イヤー・コンサート 2018

1月28日[日] 開場 13:30 開演 14:00

前橋文学館

萩原雅美(ソプラノ)、藤井由香(ピアノ)、小林 渉(フルート)の若手演奏家による新春にふさわしい演奏会です。[問] TEL: 080-5473-2969 (小林)

群馬バロックオーケストラ

「ひ・み・つ」～Secret Concert～

2月17日[土] 開場 15:30 開演 16:00

前橋テルサ 2階ホール

群馬交響楽団の団員を中心とした「群馬バロックオーケストラ」が、大作曲家の秘められた名曲や知る人ぞ知る佳曲を演奏します。

[問] 前橋テルサ TEL: 027-231-3211

今月のおすすめ

by

ROBSON COFFEE

アーツ前橋店



「本日のコーヒー」から選べる、ブラジル・エルマス・ベレイラ(450円)。香ばしいナッツの香りと、蜂蜜やキャラメルのような甘みが特徴です。プレスで淹れることで、よりまろやかで風味豊かな一杯に仕上がります。

EXHIBITION

アーツ前橋 展覧会情報

コレクションII 彼女たちのまなざし

2018年2月2日[金] - 3月4日[日]

開館時間: 11:00 ~ 19:00 (入場は 18:30 まで)

休館日: 水曜日

会場: アーツ前橋 1F ギャラリー

観覧料: 無料

本展では、当館の所蔵作品の中から女性をモチーフにした近代の洋画・日本画作品とともに、群馬ゆかりの女性作家による表現をあわせてご覧いただけます。明治期において、日本人画家たちは西洋式の美術を取り入れようと、西洋の伝統的な主題であった裸婦をこぞって描きましたが、大正・昭和と時代が移り変わるとともに、描かれる女性たちの服装や仕草は変化していきます。また、日本画の伝統技法にコラージュの要素を組み込んだ塩原友子、絹を素材とした寺村サチコなど、現代においては、幅広いジャンルで活動する女性作家たちの試みも展開しています。女性にまつわる様々な美術作品から、社会の変化にもまれながら生きる女性たちの歴史を透かし見たり、美術をめぐる多様な視点を読み解いてみませんか?

※関連イベントや展覧会詳細は公式サイトをご覧ください。



中村節也《画室》1932年 油彩、キャンバス

同時期開催

身体拡張 2018 公園デビュー

2018年2月2日[金]、3日[土]、4日[日]、
8日[木]、9日[金]、10日[土]、11日[日]、12日[祝・月]、
15日[木]、16日[金]、17日[土]、18日[日] 計12日間

開館時間: 11:00 ~ 19:00

※各イベントにより異なります。

会場: アーツ前橋 地下ギャラリー

主催: 身体芸術推進実行委員会

共催: アーツ前橋

観覧料、プログラム詳細はアーツ前橋公式サイトをご覧ください。

&Arts ISSUE 12

アンドアーツ 第12号

発行: 平成29年12月20日 企画・発行: アーツ前橋 制作コーディネート・編集: 一般社団法人前橋まちなかエージェンシー ライター: 遠藤千尋 アートディレクション・デザイン: 殿岡 渉 (あしか図案) 写真: 上原ミワ、木暮伸也 ロゴデザイン: 荻原貴男 (OGIWARA TAKAO DESIGN)
アーツ前橋 〒371-0022 群馬県前橋市千代田町5-1-16 TEL: 027-230-1144 FAX: 027-232-2016